

2021 会 告 No.5

◇通知・案内事項

○化学工学第52回秋季大会開催案内・講演募集・・・本号5ページ
 ○2021年度化学工学資格制度案内……………本号7ページ

○「上席化学工学技士」試験案内……………本号8ページ
 ○「化学工学技士」試験案内……………本号9ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2021)	(2022)
◇年会		3/16～18(神戸大学)
◇秋季大会	9/22～24(岡山大学)	9/14～16(信州大学)
◇支部大会	7/1～2(秋田県)	
◇学生発表会(東地区)		
(西地区)		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
5月 May			
18	第1回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「触媒化学者・技術者のための実践基礎講習」(オンライン)		3号9
18	オンライン版「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(5/18, 5/25, 6/1)(オンライン)	5月11日(火)	4号8
22	第11回「しごとの常識」塾 ～上級編②リーダーシップとフォロワーシップ～(オンライン)	5月19日(水)	4号4
26	オンライン版「反応器の設計」講座(5/26, 6/2, 6/9, 6/16)(オンライン)	5月19日(水)	4号9
6月 June			
1～2	第27回化学安全講習会(大阪府)	5月13日(木)	4号15
2	第26講研究開発リーダー実務講座2021(6/2～11/10の全6回)(大阪府)		本号13
3～4	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	5月26日(水)	4号10
5	SCE・Netオンライン講座 「原子力・放射能基礎論－放射線の健康への影響と原子力発電の課題」(オンライン)	5月31日(月)	本号11
7	オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(6/7, 6/8, 6/14, 6/15)(オンライン)	5月31日(月)	4号7
7	第12回ホットな話題の講演会 「超音波を用いた反応操作の最前線とオンラインだからよく見える超音波装置の見学会」(オンライン)	5月31日(月)	本号12
11	オンライン版「プロセス制御の理論と応用」講座(オンライン)	6月4日(金)	4号10
14～16	第45回基礎化学工学演習講座(第1クール)(オンライン)	5月31日(月)	4号14
21	オンライン版「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編【座学】(オンライン)	6月14日(月)	4号8
23～25	「P&IDの作り方」講座(東京都)	6月15日(火)	4号11
26	第12回「しごとの常識」塾 ～上級編③リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・行動様式)～(オンライン)	6月23日(水)	4号5
29	第14回機器分析講習会(愛知県)	6月15日(火)	本号12
30	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(6/30～7/2)(東京都)	6月22日(火)	4号7
7月 July			
1～2	化学工学秋田大会(秋田県またはオンライン)	4月30日(金)	4号14
1～2	第45回基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)	6月18日(金)	4号14
3	第58回化学関連支部合同九州大会(福岡県)	4月9日(金)	3号10
5～7	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	6月25日(金)	4号11

9	第21回上席化学工学技士交流会(大阪)(オンライン)	6月30日(水)	本号10
12	オンライン版「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(7/12, 7/19)(オンライン)	7月5日(月)	4号12
13	「仕様書の書き方～要求を正しく伝えるために～」講座(東京都)	7月5日(月)	4号12
20～21	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	7月12日(月)	本号11
8月 August			
2～3	第45回基礎化学工学演習講座(第3クール:1日単位)(8/6, 18-20, 23, 25, 27)(オンライン)		本号12
21	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(火)	本号9
27	オンライン版「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(8/27, 9/3)(オンライン)	8月20日(金)	4号13
9月 September			
11	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月13日(金) 13:00	本号7
17	オンライン版「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(オンライン)	9月10日(金)	本号10
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)	6月15日(火)	本号5
10月 October			
2～3	令和3年度化学系学協会東北大会(福島県)	8月27日(金)	4号14
16	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)	6月30日(水)	本号8
2022年3月 March			
16～18	化学工学会第87年会(兵庫県)		
2022年9月 September			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
9月12～17日	24th International Conference on Chemical Reactor (CHEMEREACTOR-24) (Milan, Italy)		
12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+) (京都府)	6月30日(水)	6号8
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2021 International Conference in Electronics Packaging (ICEP2021)(オンライン)	5月12～14日 (水～金)	エレクトロニクス 実装学会	icep2021@jiep.or.jp http://www.jiep.or.jp/icep/
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月15～16日 (土～日)	マリンバイオテ クノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/
塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」(東京都)	5月21日(金)	色材協会 関東支 部	03-3443-2811 (03-3443-3699) admin@jscm.or.jp
第6回マルチスケール材料力学シンポジウム(オンライン)	5月21日(金), 28日(金)	日本材料学会	jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第58回日本伝熱シンポジウム(オンライン)	5月25～27日 (火～木)	日本伝熱学会	http://htsj-conf.org/symp2021/index.html

第8回SBJシンポジウムーカーボンリサイクル実現に向けたバイオ生産技術開発ー(オンライン)	5月26日(水)	日本生物工学会	
第26回計算工学講演会(福岡県)	5月26～28日(水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) office@jcses.org https://www.jcses.org/koenkai/26/
オンライン技術セミナー「圧力容器に関する国内規格とASME規格の動向と解説」(オンライン)	6月1～2日(火～水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/murbvnvs9-178/#
第49回全国設備管理強調月間(2021年度)(全国)	6月1～30日(火～水)	日本プラントメンテナンス協会	03-6865-6081 FUKYU@jipm.or.jp http://www.jipm.or.jp
界面コロイドラーニングー第37回現代コロイド・界面化学基礎講座ー(オンライン)	6月3～4日(木～金)	日本化学会, コロイドおよび界面化学部会	jigyokikaku_01@colloid.csj.jp http://colloid.csj.jp
混相流レクチャーシリーズ46 『情報科学の混相流への適用』(東京都・オンライン)	6月4日(金)	日本混相流学会	078-803-6119 (078-803-6119) murakawa@mech.kobe-u.ac.jp http://www.jsmf.gr.jp/
色材セミナーーSDGsと材料開発ー(オンライン)	6月8日(火)	色材協会 関西支部	06-6356-0700 (06-6356-0711) kansai@jscm.or.jp http://www.shikizai.org/
第62回粉体入門セミナー I 「粉体とは何だろうか?ーその性質と評価ー」 (オンライン)	6月8～9日(火～水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
講話「レオロジー・クラシック」FINAL(京都府)	6月11日(金)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp https://www.srj.or.jp/
第70回粉体技術専門講座ー食品粉体に関わる先端技術ー (オンライン)	6月16日(水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1
第32回年次大会 『成形加工イノベーションー新たな産業と技術革新の基盤のためにー』(東京都・オンライン)	6月16～17日(水～木)	プラスチック成形加工学会	annual2021@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第63回粉体入門セミナー II 「粉をつくり, そして利用するために」(オンライン)	6月22～23日(火～水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
スケジューリング国際・シンポジウム2021(オンライン)	6月25～27日(金～日)	スケジューリング学会	052-832-3295 (052-832-3279) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2021/
第10回JACI/GSCシンポジウム(オンライン)	6月28～29日(月～火)	新化学技術推進協会(JACI)	03-6272-6880 (03-5211-5920) Jacigsc10@jaci-gsc.com http://www.jaci.or.jp
第241回西山記念技術講座 「先端鉄鋼製精錬プロセス技術における基礎と実践研究」 (オンライン)	6月30日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2021/20210630.html

第64回粉体入門セミナーⅢ「粉をあやつる」(オンライン)	7月7～8日(水～木)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
No.21-14「第31回環境工学総合シンポジウム2021」(オンライン)	7月8～9日(木～金)	日本機械学会	03-5360-3505 (03-5360-3509) hashiguchi@jsme.or.jp https://confit.atlas.jp/env21
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2021(大阪府)	7月14～16日(水～金)	日本プラントメンテナンス協会, 日本能率協会	03-3434-1988 mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/index.html
第30回日本エネルギー学会大会(富山県)	8月4～5日(水～木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai30happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/767/
第58回粉体に関する討論会(北海道)	9月6～8日(月～水)	第58回粉体に関する討論会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/
2021年度工学教育研究講演会(長野県・オンライン)	9月8～10日(水～金)	日本工学教育協会・北陸信越工学教育協会	kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
第37回ファジィシステム シンポジウム(FSS2021)(福岡県)	9月13～15日(月～水)	日本知能情報ファジィ学会(SOFT)	fss2021-eml@soft-kyushu.org http://fss.j-soft.org/2021/
日本流体力学会 年会2021(東京都)	9月21～23日(火～木)	日本流体力学会	jsfm2021@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2021/
第38回センシングフォーラム 計測部門大会～新たな地平を切り開くセンシング～(オンライン)	9月30日～10月1日(木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp
第8回アジア粉体工学シンポジウム(APT2021)(大阪府)	10月11～14日(月～木)	APT実行委員会	apt2021@chemeng.osakafu-u.ac.jp https://apt2021.org
第69回レオロジー討論会(北海道)	10月20～22日(水～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第64回自動制御連合講演会(京都府)	11月13～14日(土～日)	システム制御情報学会	rengo64@iscie.or.jp https://rengo64.iscie.or.jp/
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9)(香川県)	11月28日～12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)(東京都)	12月6～10日(月～金)	触媒学会 ファインケミカルズ合成触媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年7月5～8日(火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

化学工学会第52回秋季大会開催案内・講演募集

会場：岡山大学津島キャンパス(〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号)
(双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)

会期：2021年9月22日(水)～9月24日(金)

講演申込期間：2021年5月6日(木)～6月15日(火)23:59
大会Webサイトからの申込に限ります。

要旨提出期間：2021年7月1日(木)～8月25日(水)23:59

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/52f/>

化学工学会第52回秋季大会は、2021年9月22日(水)～24日(金)の3日間、岡山大学津島キャンパスにおいて開催されます。(双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催に変更される可能性があります。)本年秋季大会では、本会外からの招待講演を多く含む「特別シンポジウム」(講演発表非公募)、部会が中心となって提案した「部会横断型シンポジウム」、「部会シンポジウム」など、多くの企画を実施いたします。該当するシンポジウムが不明の方は、化学工学会第52回秋季大会実行委員会(inquiry-52f@www3.scej.org)にご相談ください。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成してください。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承ください。また講演要旨は、事前参加登録者(参加費支払済みの方)全員に、大会会期前に大会Webサイトで限定公開いたします。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、双方向ライブ配信を併用した「オンライン・オンサイト併用開催」で計画しております。全てのセッションについてオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とします。なお、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。予めご了承ください。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

注意点

○各セッションの開催形態と発表可否の選択について

本大会では、双方向ライブ配信で実施するセッションを含め、全ての講演をインターネット配信します。オンライン参加者は遠隔会議システム(Zoom)の環境準備(カメラ、マイク;PC付属のものでも可;ヘッドセットマイクが望ましい)が必要となります。また、発表内容は自動公衆送信による再送信とみなされますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、

発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

口頭セッションの一部は双方向ライブ配信での実施となる予定です。ライブ配信会場はオーガナイザーが指定した場所となり、岡山以外となる場合もあります。双方向ライブ配信会場にご来場いただける参加者(登壇者・司会等)は、当該セッションに関してはZoomに関する準備は不要です。

なお、開催形態、オンライン参加・オンサイト参加に関わらず一切の録音・録画・撮影を禁じます。このことについて大会参加登録の際に同意いただきます。

つきましては、講演申込の際に、オンラインでの発表が可能かどうかをご選択いただきます。(双方向ライブ配信で計画されているセッションであっても、オンライン実施に変更となる可能性があるため同様に回答ください。)オンラインで発表が難しい場合、東京都内に設ける代替発表環境(PC貸出もしくはネット環境用意)にて発表可能かどうかをご選択いただきます。詳細は大会Webをご覧ください。

○講演発表申込時の発表者事前了解について

必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力ください。

(※上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載ください。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。

学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

特別シンポジウム

本大会では、本会外からの招待者を多くお招きする「特別シンポジウム」を開催します。

※講演発表の公募は行いません。

※テーマ、詳細な内容、開催日等は大会Webサイトでご確認ください。

講演発表申込

○申込資格

1)講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

正会員(名誉会員を含む)

学生会員

教育会員

海外会員(正会員、連携会員、学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員

部会個人賛助会員

部会法人賛助会員に属する社員

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者

中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KIChE)、台湾化学工程学会(TwIChE)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHe)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会本部Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照ください。

2)講演内容は未発表のものに限ります。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込みください。講演申込期間は、2021年5月6日(木)から6月15日(火)23:59までです。大会Webサイトからの申し込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承ください。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管してください。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使いください。

なお、講演プログラムの編成上、申込時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任ください。

○申込時の注意事項

*講演申込期間以外は受理できません。

*JISコードのない日本語文字は使用しないでく

ださい。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないでください。

- * 講演申込1件分をひとつずつ送信してください。
- * 二重送信は絶対にしないでください。
- * 申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信してください。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。
- * 申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせください。
- * プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
- * 最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込みください。
- * 大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧ください。

○講演分類

講演申込時には、講演を希望するシンポジウム、セッション番号を指定してください。一覧は大会Webサイトにてご確認ください。

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2021年7月1日(木)から8月25日(水)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出(アップロード)してください。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれらと異なるように注意してください。異なっている場合はプログラム(大会webサイト、講演要旨集、冊子)に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル(Microsoft Wordファイル)を掲載します。ご利用ください。

- 1) 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出(アップロード)してください。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 2) 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。但し、20分を超える講演は2枚(2ページ)です。
- 3) 原稿1ページの書式は以下を基準とします。
全体体裁：2段組み、24字×49行×2段＝2352字、段間の間隔6mm
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm

字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦254mmの中に全内容を納めてください。

- 4) 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm(9文字分)、上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいてください。
- 5) 講演題目は、1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて、本文より大きく書いてください。
- 6) 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いてください。所属名は略称を記入してください。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないでください。保有している化学工学会資格は7)を参照してください。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけてください。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけてください。
(例)(岡大)○(正・技士)化工一郎*(学) 岡山花子・津島太郎
- 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記してください。化学工学修習士：修習、化学工学技士(基礎)：技基、化学工学技士：技士、首席化学工学技士：上技。
(例)(正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等
- 8) 本文は5行目左欄から書いてください。但し、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いてください。
- 9) 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載してください。

(PDFファイルに関する注意点)

- 1) ファイルサイズは1229kB以下にしてください。
- 2) セキュリティ設定は「なし」にしてください。
- 3) 「全てのフォントの埋め込み」を行ってください。
- 4) PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)してください。
- 5) PDFファイルの提出(アップロード)には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されます)。
- 6) 締切日までの間は、何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ、PDFファイルの差し

替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

(講演要旨原稿提出時の注意事項)

- * 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。
- * 締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会Webサイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3カ月後です。

発表形式

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載いたします。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト(<http://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>)をご確認ください。また、第52回秋季大会の講演要旨公表日は2021年9月8日(水)です。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

問合せ先

化学工学会第52回秋季大会実行委員会
E-mail: inquiry-52f@www3.scej.org

第52回秋季大会 広告・プロモーションビデオ・オンライン展示募集

第52回秋季大会概要

会期 2021年9月22日(水)～9月24日(金)
会場 岡山大学津島キャンパス(〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号)
(双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)
見込み参加者 1,800名以上

内容 研究講演・シンポジウム等
参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生、化学系および関連会社の研究者・技術者
URL: <http://www3.scej.org/meeting/52f/>

化学工学会第52回秋季大会では、バナー広告、オンライン展示、プロモーションビデオ掲載等

を募集いたします。詳細は次号会告および大会Webサイトをご覧ください。

問合せ先

化学工学会第52回秋季大会実行委員会
E-mail: inquiry-52f@www3.scej.org

2021年度化学工学会資格制度案内

化学工学会では、2006年度に資格制度を制定し、「**上席化学工学技士**（SPCE；Senior Professional Chemical Engineer）」、「**化学工学技士**（PCE；Professional Chemical Engineer）」、「**化学工学技士（基礎）**（PCE；Professional Chemical Engineer Fundamental）」、「**化学工学修習士**（APCE；Associate Professional Chemical Engineer）」の4つの資格を設けております。

下表の受験資格、認定基準、能力水準を満たし、試験または審査に合格した方に対し、各資格を付与致します。これらの資格を活用することにより、化学工学に対する社会の認識と関心を高め、化学技術者が社会から正当に評価され、社会と産業の発展に更に寄与することを目的としています。

なお、2021年度の「化学工学技士」試験と「化学工学技士（基礎）」試験は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策を充分に取り、試験会場にて筆答試験を行います。

また、化学工学会人材育成センターでは、資格制度と継続教育を両輪として連携させた教育体系によって、『技術者の生涯にわたる継続学習』を支援しております（4号会告6ページの図を参照）。

人材育成センター継続教育委員会主催の継続教育講座では、化学工学技士（基礎）資格保有者を対象にした割引制度（4号会告5ページを参照）を設けており、継続教育講座受講で取得した“継続教育ポイント”による「化学工学技士」試験の無料受験も可能です。“継続教育ポイント”については、4号会告5ページをご参照ください。

資格	能力水準	受験資格	募集期間	審査期間	試験日	合格発表
上席化学工学技士	化学工学・プロセス工学の幅広い知識と経験を有し、俯瞰的な解析・決定ができる。	・15年以上の実務経験を有する方 ・「化学工学技士」保有者で10年以上の実務経験を有する方	6/1～6/30	書類審査【一次】6/1～30 論文執筆【二次】7/8～8/15 論文審査【二次】8/16～9/16	10/16(土) 面接試験【三次】*1	11月初旬
化学工学技士	化学工学・プロセス工学の高度な専門知識と応用能力を修得しており、ものづくり現場の責任ある業務を行うことができる。	なし	6/1～7/20		8/21(土) 筆記試験【予備日：10/30(土)】	11月初旬
化学工学技士（基礎）	化学工学・プロセス工学の基礎を学び、学会の求める基礎的なレベルの知識を修得しており、ものづくり現場の業務を担当する能力がある。	なし	7/1～8/13 13:00厳守	-	9/11(土) 筆記試験	11月初旬
化学工学修習士	化学工学・プロセス工学の基礎を学び、ものづくりの業務内容を理解できる基礎がある。	2017年度をもって審査を終了致しました。今後は是非「化学工学技士（基礎）」資格の取得を目指して下さい。 なお、 <u>JABEE旧基準化学工学コースの在学生在に限り、卒業年度の翌年に『旧基準化学工学コースの修了証』のコピーを提出すれば</u> 、引き続き、化学工学修習士資格を付与する制度を2023年度まで継続しております。				

*1：受験者が多数の場合は、面接審査を翌17日(日)に分けて実施する可能性があります。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail：qualification“アットマーク”scej.org
TEL：03-3943-3527 FAX：03-3943-3530

「上席化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2021年6月1日(火)～30日(水)

(一次)書類提出期限：2021年6月30日(水)必着

(二次)論文提出期限：2021年8月15日(日)必着

(三次)面接審査日：2021年10月16日(土)

合格発表：2021年11月初旬

「上席化学工学技士」とは、化学工学に関連した知識をベースに、特に高度な専門的応用能力を必要とする化学技術に関する業務(研究、技術開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、技術管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など)を指導的立場で行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。

なお、技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます。(退会とともに失効します)

能力水準

化学工学・プロセス工学の幅広い知識と経験を有し、俯瞰的な解析・決定ができること。

受験資格

- (1) 化学工学会の個人正会員であること。会員外の方は事前に会員申込を行って下さい。(コンビニでの支払いの場合、申込申請から入金確認ができるまでに約3週間要する場合があります。クレジット払いの場合は、即時に入金確認できます。)
 - (2) 化学技術の分野の中で高度な専門性を持ち、また、その分野においては社会から専門家として認められるような能力があり、さらに技術指導ができる能力を有すること。
 - (3) 化学工学を含む化学技術分野の専門的業務に携わり、15年以上の実務経験を有すること。(但し、化学工学技士の資格があれば10年で受験可)
 - (4) 上述の専門的業務は、以下の何れかの職種において、高度な専門的応用能力を必要とする業務を含むものであること。
(職種) 研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など
- (注) 学校教育法の大学院修士課程又は博士課程

(化学工学関連分野専攻に限る)に在学していた方は(2)の実務経験に2年を限度として算入することができます。

試験内容 一次～三次まで審査があります。

(一次)書類審査

書類審査では、以下の提出内容に基づき、受験資格要件を満たしているかどうかの判定を行います。

業務履歴(事業者の証明印必要)用紙はホームページよりダウンロードして下さい。

社内外の化学工学に関する活動リスト(社外発表、社内発表、特許、論文、雑誌投稿、学会活動、本の執筆、講演会講師等)を書き切れない場合は、別途に記載しても構いません。但し、提出時には1つのファイルとして下さい。

(二次)論文審査

書類審査合格者に対して、①課題論文と②業務論文による論文審査を実施します。

課題論文：所定のフォームでA4用紙2枚以内
業務論文：所定のフォームでA4用紙3枚以内
(注)枚数と提出期限を守ってください。

課題論文は、出題された課題に対して論文を提出していただきます。高度な専門知識およびその応用能力があるかどうかを判定するものです。但し、A4用紙2枚以内厳守

業務論文は、次に示す3つの事項に関してまとめて頂きます。但し、(1)～(3)をまとめて、A4用紙3枚以内厳守

- (1) 技術実績：A4用紙2枚以内厳守
- (2) 専門技術：A4用紙0.5枚以内厳守
- (3) 指導力：A4用紙0.5枚以内厳守

(三次)面接試験

論文審査合格者に対して、面接試験を実施します。

内容：課題論文、業務論文および資格要件(業務履歴、活動リスト、資格)に関する質問

面接は、MS Teamsによるオンライン面接です。面接者が多数の場合は、翌17日(日)にも面接を実施する可能性があります。

受験料(消費税10%込)

受験時に個人正会員である必要があります。

「化学工学技士」保有：22,000円

「化学工学技士」非保有：27,500円

化学工学技士保有者とは、認定期間中の認定証を保有している方(試験に合格した後、登録と更新を完了させている方)を指します。認定期間を終えている方は対象外となります。

申込方法 化学工学会ホームページ (<http://www.scej.org/>) の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ (https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm) で「2021年 上席化学工学技士 申込受付」を選択し、お申し込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

※申込の際に、(一次)書類審査に必要な**業務履歴証明書**を添付して頂きます。事業者(人事部長または人事部長に相当する方)の証明印が必要ですので、事前に書類をご用意下さい。

問い合わせ先・書類送付先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「上席化学工学技士」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2021年6月1日(火)～7月20日(火)

試験日時：2021年8月21日(土)10:45～16:45

合格発表：11月初旬

「化学工学技士」は、化学工学に関連した専門的応用能力を必要とする化学技術に係る業務(研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理)を行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。

なお、技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます。(退会とともに失効します)

2021年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を充分に取り、試験会場にて筆答試験を行います。

能力水準

化学工学・プロセス工学の高度な専門知識と応用能力を修得しており、ものづくり現場の責任ある業務を行うことができること。

受験資格 なし

試験会場

東京会場：準備中(ホームページをご確認ください)

大阪会場：準備中(ホームページをご確認ください)

詳細は、ホームページ (https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm) で「2021年化学工学技士申込受付」を選択して確認して下さい。

試験内容 筆記試験により審査します。実務経験10年程度の能力が目安となります。

筆記試験では、化学工学一般、専門知識、及び、その応用能力があるかを試験します。

試験は休憩時間をはさみ、第一部試験と第二部試験に分かれております。

第一部試験(11:00～12:30)

化学工学の基礎的な能力を問う問題で、「化学工学技士(基礎)」資格認定試験相当です。

出題は、プロセス収支、流動、伝熱、反応、分離技術の5分野より各1題です。

「化学工学技士(基礎)」資格保有者は、第一部試験を合格したものとみなし、受験を免除されます。〔「化学工学技士(基礎)」資格の認定期間は、取得から8年間限定です〕

※但し、2012年度「化学工学技士(基礎)」取得者に対しては、2020年度試験中止の救済措置として「第一部試験受験免除」の特典を1年間延長し、2021年度までと致します。

参考書等の持ち込みは禁止されております。

第二部試験(13:45～16:45)

※2019年度より配点を変更しております。

1. 課題解決・設計問題【3題解答(内1題必須)】(60点)

「化学工学技士」として業務で遭遇する問題を解決するために必要な基本的知識や対応の仕方などを問う。数値を議論し、化学工学的な思考を問う問題を1題(必須)も含む。

2. 用語説明【3題選択回答】(15点)

「化学工学技士」として知っていて欲しい技

術用語の説明、および、実務での使用例を簡潔に記述。

3. 技術課題と技術動向(25点)

「化学工学技士」として関心を持って欲しい技術課題や技術動向についての見解を自らの実務経験と照らし合わせて論述。

新技術、安全、環境、資源・エネルギー分野や人材育成などについて、与えられた課題の中から1課題を選択し、小論文(1200字以内)を作成。

※第一部試験の合格と第二部試験の合格を両方合わせて、「化学工学技士」試験の合格と致します。

※合格者に対して、評価(S, A, B, C)を設け、本人にフィードバック致します。

※試験詳細と過去の試験問題は、ホームページ (<http://www.scej.org/qualification/shikaku-gishi.html>) をご確認ください。

学習内容及び参考図書

■第一部試験

次の図書などを参考にして学習して下さい。

参考図書

- ・「解説化学工学 改訂版」(培風館)
- ・「改訂新版 化学工学通論 I」(朝倉書店)
- ・「化学工学 改訂第3版 - 解説と演習 - 化学工学会 監修」(朝倉書店)
- ・「化学工学概論」(産業図書)
- ・「技術者のための化学工学の基礎と実践 化学工学会編」(アグネ承風社)
- ・「基礎化学工学」(共立出版)
- ・「基礎化学工学 化学工学会編」(培風館)
- ・「基礎からの化学工学」(東京化学同人)
- ・「現代化学工学」(産業図書)
- ・「新版 化学工学の基礎」(朝倉書店)
- ・「はじめての化学工学 化学工学会高等教育委員会編」(丸善出版)
- ・「はじめて学ぶ化学工学」(丸善出版)
- ・「標準化学工学」(化学同人)
- ・「標準化学工学 I - 収支・流体・伝熱・平衡分離 -」(朝倉書店)
- ・「標準化学工学 II - 反応・制御・速度差分離 -」(朝倉書店)
- ・「ベーシック化学工学」(化学同人)

※その他、79巻1号に掲載された教科書一覧(pp.45-49)もご参考にして下さい。

■第二部試験

*課題解決・設計問題

実務上の経験や継続教育講座(4号会告6～13ページ参照)のテキストや修了レポートなども活用して整理して下さい。

*用語説明

化学工学に関連する基礎的な用語を学習して下さい。

*最近の技術課題および技術動向

化学工学誌10月号「化学工学年鑑」など。

資格取得のメリット

(1) 化学工学に関する知識・能力を持っていることをアピールできます。

(2) プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」に参加できます。

(3) 上席化学工学技士受験に必要な実務経験年数が短縮(15年⇒10年)されます。

(4) 上席化学工学技士試験を割引価格【27,500円→22,000円(2021年度)】(消費税10%込)で受験できます。

受験料(消費税10%込)

受験資格		受験料
化学工学技士(基礎)保有者	個人で会員資格を有する方	8,800円
	上記以外の方	22,000円
化学工学技士(基礎)非保有者	個人で会員資格を有する方	16,500円
	上記以外の方	29,700円

申込方法 化学工学会ホームページ (<http://www.scej.org/>) の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ (https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm) で「2021年化学工学技士申込受付」を選択し、お申し込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

「継続教育ポイント」による受験について

「継続教育」各講座の受講と修了レポートや化学工学技士(基礎)取得によって「継続教育ポイント」を獲得できます。また、獲得した「継続教育ポイント」の合計が100ptに達した受講者には、100ptにつき1回、「化学工学技士」資格認定試験を受験する機会を無料で提供しております。

「継続教育ポイント」の獲得に関する詳細は、4号会告5ページをご確認ください。

正会員の方はマイページの『受講ポイント閲覧』に「継続教育ポイント」が表示されております。〔「参加行事閲覧」には、受講履歴及び各行事におけるポイントの明細が表示されています〕

個人で会員になられていない方(例えば、法人会員の社員)で、自らの獲得ポイントをご確認したい方は、同姓同名を判別するために、氏名、ふりがな、会社名、生年月日、e-mailアドレスを明記の上、jinzai-seminar アットマーク scej.orgまでメールでお問い合わせ下さい。所定の要項を記してご連絡頂けましたら、取得した「継続教育ポイント」と、「参加申込(会員の方)」の青色のボタンから入るために必要なIDとPWをお伝えします。

お問い合わせ

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「化学工学技士」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification アットマーク scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

人材育成センター

2021年度 インターンシップのご案内

主催 化学工学会人材育成センター高等教育委員会

化学工学会では「企業の中で、化学工学の知識を活用できるテーマの研修を体験し、化学工学の位置付けを理解すること」を目的としたインターンシップを、2006年度から行っております。なお、COVID-19の状況によっては研修受入企業が研修受入れを中止する場合があります。

特長

- (1) 化学工学の知識を活用できるテーマの研修です。
- (2) 7～11月(主に夏期)に、2～8週間程度の研修を行います。
- (3) 学生間での情報交換を図るため、報告会を行います。

申込資格

- (1) 化学工学会の会員であること。
- (2) 大学院生であること。
- (3) 指導教員の推薦状があること。

入会申込に関する諸注意

3～8月は入会時期に関わらず、年会費は同額です(5,500円/年)。未入会の方は速やかに手続きして下さい。

WEBから入会登録すると、登録されたメールアドレスに「公益社団法人化学工学会 入会申込確認メール」が届きます。仮登録のメールなので、1時間以内に本文の本登録用URLをクリックしないと手続きが完了しません。(1時間以上経過した場合は無効になりますので、WEB登録から手続きをやり直して下さい)

本登録が完了した方には、会費請求書が送付されます。会費のお支払いは極力、即日入金確認になるクレジットカード決済をお願いします。(COVID-19対策で担当者が在宅勤務のため、請求書の発送に最大1週間、振替用紙によるお支払いで入金確認に最大3週間、併せて入会登録から入金確認まで最大1ヵ月かかります。)

入金確認が完了するとインターンシップへの申込ができるようになります。

入金確認はマイページにログインしてご確認できます。本登録完了時に送信されたIDとPWでログイン後、会員メニューの「請求入金情報・クレジット決済」情報に進んで下さい。

「請求入金情報・クレジット決済」の「請求履歴」で、2021年度の「入金済金額」に金額が入っていれば完了しており、申込ができる状態です。2021年度の「入金済金額」が0の場合は完了しておりません。

申込期間 2021年6月1日(火)～21(月)13:00厳守

申込方法 ホームページ (<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>) で「2021年度インターンシップ」を選択し、「参加申込(会員の方)」のボタンよりお申し込み下さい。

※申込は1人1テーマのみです。

※申込の際に、指導教員推薦状を添付して頂きます。事前に書類をご用意下さい。詳細はホームページよりご確認ください。

再マッチングについて

再マッチング可能な受入枠がある場合、研修採用に至らなかった応募者で再マッチング希望

者には学会よりご連絡します。

報告書の提出について

研修終了次第、速やかに報告書を提出して下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
高等教育委員会「インターンシップ」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: internship_2021@atmark-scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

第21回上席化学工学技士交流会 (大阪)

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

2006年度に技術者資格制度が発足して以来、2020年までに196名の方が上席化学工学技士の資格を取得されました。

近郊の技士の方々の交流を図って2014年7月に始めた上席化学工学技士交流会も、回を重ねてきて参加の皆様の交流の輪も広がり、今では東京と大阪の2か所で開催されるようになりました。

いずれの会も活発にしかも和やかな雰囲気のもと、意見交換がなされてきました。

また、2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、約1年間にわたり対面での開催を休止して参りましたが、久しぶりにオンラインによる開催で復活することと致しました。

今までの東京、大阪だけでなく、しばらくはオンラインでも開催することで、上席化学工学技士の方たちの交流の輪を、益々広がり深めて行きたいと思っています。

皆様の積極的なご参加によって、その交流の輪が広がり、本会がさらに素晴らしい会に発展し、定着することを希望致しております。是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 2021年7月9日(金)14:00～17:20

会場 Zoomによるオンライン開催

対象 「上席化学工学技士」資格保有者

内容

1. 開会挨拶、参加者自己紹介(14:00～14:15)

司会：上席化学工学技士((株)カネカ)

古川龍二氏

2. 話題提供「シミュレーション、それに伴うデータ収集、加工、人材育成に関わる話題(仮)」(14:15～15:15)

上席化学工学技士((株)カネカ)

神田彰久氏

司会：上席化学工学技士

(住友ベークライト(株))河口竜己氏

3. 話題提供「粉体処理の設計業務を通して経験した化学工学に関わる話題(仮)」(15:20～16:20)

上席化学工学技士(月島機械(株))

諏訪 聡氏

司会：上席化学工学技士

(住友ベークライト(株))河口竜己氏

4. SPCEs'フォーラム：テーマ(当日の話題から)(16:20～17:20)

*当日の話題を中心とした意見交換

*上席交流会オンライン開催の内容に関する意見交換

司会：上席化学工学技士((株)カネカ)

古川龍二氏

募集定員 20名(定員になり次第締切)

申込締切 6月30日(水)

参加費 無料

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行事リストからお申込みください。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター
資格制度委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification@atmark-scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

オンライン版 「バッチ操作を伴うプロセス設計」 講座(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年9月17日(金)9:30～17:10

対象 以下の何れかに該当される方

- ・バッチプロセス、プラントの設計に携わる方(2～3年程度の経験者)
- ・「反応器の設計」講座 修了者

講習目標 本講座では、主に反応を伴うバッチプロセスを題材に、プロセスを設計する上で、留意しなければいけない基本的な思想、手法を学んでいただくとともに、特に、バッチプロセス特有の事象について学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) バッチ操作を伴うプロセスを設計する際の留意点を理解できます。
- (2) バッチ操作を伴うプロセスにおけるプロセス機器、シーケンス制御の設計方法を理解できます。
- (3) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(9月10日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講義内容

主に反応を伴うバッチプロセスを題材に、プロセスを設計する上で、留意しなければいけない基本的な思想、手法を学んでいただくとともに、特に、バッチプロセス特有の事象について学んでいただきます。

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで開催致します。

オンライン開催になりますが、目安として講義60分につき休憩10分程度と取りながら、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション 9月10日(金) 11:00～(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

講義 9月17日(金)9:30～17:10

1. バッチプロセスと連続プロセス

2. 反応

バッチ反応プロセスの設計,
バッチ反応プロセス機器の設計,
バッチ反応プロセスにおけるシーケンス制御の設計,
バッチ反応プロセスの機器配置

3. 蒸留

バッチ蒸留プロセスの設計,
バッチ蒸留プロセス機器の設計,
バッチ蒸留プロセスにおけるシーケンス制御の設計,
バッチ蒸留プロセスの機器配置

4. 粉体混合プロセス

バッチ粉体プロセスの設計,
バッチ粉体プロセス機器の設計,
バッチ粉体プロセスにおけるシーケンス制御の設計,
バッチ粉体プロセスの機器配置

講師

小野喜弘氏(元三菱ガス化学(株), 上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には10 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に5 ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 9月10日(金)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員:	22,000円
維持会員/特別会員の社員:	27,500円
地区会員の社員:	33,000円
会員外:	38,500円

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

5/20(木)～21(金)に予定していた「モデリング技術の基礎と実践」講座(4号会告9掲載)は、7/20(火)～21(水)に日程を変更致しました。

産学官連携センター

SCE・Net オンライン講座 「原子力・放射能基礎論— 放射線の健康への影響と 原子力発電の課題」

化学工学会SCE・Netでは、2021年6月に社会人向け公開講座(10講義)を、「知の市場」(<http://www.chinoichiba.org/>)の関連講座として開講します。

本講座では放射線に関する基礎事項の講義を行うとともに、健康への影響について詳しく解説します。さらに、原子力利用の課題についての体系的な知識を提供します。

今回の講座ではオンライン講義を採用しており、受講登録をされた方を対象にZoomによるリモート講義を行います。また、受講料は無料といたします。

科目VT465c「原子力・放射能基礎論」10講義(1講義100分)

・講座は2部に分かれており、前半部は原子力利用の歴史および原子力発電のしくみ、放射線とは何か、その測定方法、放射線による健康影響などの基礎事項を扱い、原子力エネルギーと放射能・放射線の正確な理解のための基礎事項を解説します。後半部では、高レベル放射性廃棄物の処分、福島第一原子力発電所の廃炉や汚染水処理の問題や再稼働に向けた原発の安全基準を示すとともに、将来の原発改良技術や核融合技術の最近の進展などに触れることで原子力利用に関わる諸課題について解説します。

日時 2021年6月5日～7月3日の土曜日(計5日)
13:00～17:00

前半部(6/5、6/12、6/19 5講義)、後半部(6/19、6/26、7/3 5講義)

受講方法 オンライン(Zoom)によるリモート講

義

対象 一般社会人(原子力、放射線に関心のある方はどなたでも)、学生。

募集定員 30名

募集期間 4月1日～5月31日 定員になり次第締め切ります。

申込方法 「知の市場」(<http://www.chinoichiba.org/>)の申込サイトより、受講者登録を行ってください。登録されない場合には受講できません。登録者は資料のダウンロードが可能です。また、登録者には後日Zoomアクセスサイトを事務局より連絡します。

その他

科目の詳細(講義テーマ、講義概要、担当講師、日程、受講申込方法など)については、SCE・Netホームページ<http://sce-net.jp/main/kouza/koukai/>に掲載されています。

その他ご不明な点は、メールで yokobori@pluto.interq.or.jp (横堀 仁) までお問い合わせください。



関 東 支 部

第12回ホットな話題の講演会 「超音波を用いた反応操作の最前線と オンラインだからよく見える 超音波装置の見学会」

主催 (公社)化学工学会関東支部
共催 反応工学会ソノプロセス分科会
協賛(依頼予定) 材料・界面部会, 分離プロセス部会, 日本ソノケミストリー学会, 分離技術会, 開発型企業の会

超音波は医療現場でのエコー検査, 洗浄機や魚群探知機など身近に利用されています。また, 液相に超音波を照射することで, 液相中における乳化・微細化などの物理的現象や, 物質合成, 分解などの化学的現象を促進・制御できます。化学工学誌4月号では, 「超音波を用いた合成技術の最前線」という特集記事が生まれ, 化学プロセスにおける超音波の様々な分野での活用事例の最新の研究が紹介されています。本講習会では, 超音波を用いた反応操作技術について紹介いただき, さらに超音波装置を取り扱う会社から装置紹介をいただき, オンライン展示会を行います。オンラインだからこそ, 装置の見たい場所を接写して投影してもらうなど, 参加者の要望を叶えることもできます。

日時 2021年6月7日(月)13:00~17:00
会場 オンライン

プログラム

13:00~13:05 開会の挨拶
第1企画委員長 大友順一郎氏
13:05~13:15 講演1:超音波化学プロセスが拓くものづくり
東北大学 久保正樹氏
13:15~13:35 講演2:超音波は, どのように晶析分野に貢献するのか?
早稲田大学 平沢 泉氏
14:35~15:15 講演3:超音波反応速度の推算モデルと超音波を活用した化学プロセスの設計
東京電機大学 小林大祐氏
15:15~15:30 休憩
15:30~15:40 展示紹介1:(株)カイジョー
15:40~16:55 オンライン展示会, 名刺交換会
16:55~17:00 閉会の挨拶
東北大学 久保正樹氏

定員 80名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 正会員9,000円, 法人会員11,000円, 学生会員2,000円, 会員外15,000円
尚, それぞれの参加費にはテキスト代・消費税が含まれます。

支払方法 受付後, 参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込みください。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 5月31日(月)までにWebまたはFax, E-mailにてお申し込みください。

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>)の次回行事開催一覧の「第12回ホットな話題講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 必要

事項を記入の上, ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛, 「第12回ホットな話題講演会」と明記し, 会社・学校名, 参加者名, 所属部署, 郵便番号, 住所, 電話, Fax番号, E-mailアドレス, 会員資格, 参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申込先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org



東 海 支 部

第14回機器分析講習会

卒業研究を始める4年生や修士学生, 実際に分析機器を使用している企業の担当者を対象に, 経験豊富なメーカーの分析技術者による講義を通して, 分析機器の操作方法や計測手法, 日常メンテナンスやノウハウを学び, 研究活動のレベルアップを図ることを目的に実施します。講習会は, 走査電子顕微鏡コース, 高速液体クロマトグラフコースおよび電気化学インピーダンス測定コースの3コースを開催します。また, 講義終了後に個別の質問コーナーを設けますので, 日常の分析で疑問に思っていること, こんな分析をしてみたい, 今使用している機器の消耗品などに関する情報を得たい, 何でも構いませんので, 気軽に質問や相談してください。

主催 公益社団法人化学工学会東海支部

協賛 (予定) 静岡化学工学懇話会, 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会, 東海化学工業会, 日本分析化学会中部支部, 日本化学会東海支部, 高分子学会東海支部, 日本機械学会東海支部, 電気化学会東海支部, 表面技術協会中部支部, 計測自動制御学会中部支部, 生物工学会中部支部, 日本材料学会東海支部, 日本鉄鋼協会東海支部, 日本金属学会東海支部, 応用物理学会東海支部, 日本セラミックス協会東海支部, 日本溶剤リサイクル工業会

協力 日本電子(株), (株)島津製作所, (株)東陽テクニカ

日時 2021年6月29日(火)13:30~17:00 各コースの会場(10階)で受付します

場所 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)<https://www.winc-aichi.jp/>
名古屋市中村区名駅4丁目4-38 (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩約2分

講習会の内容

1. 走査電子顕微鏡(SEM)コース

講師 日本電子(株)[1006号室]

走査電子顕微鏡の基本を説明した後に, 測定に対する留意点や測定試料の作製法, データ解析方法, 測定に対するノウハウなどについて講義します。また, エネルギー分散形X線分析装置など, 関連する表面分析についても講義します。

2. 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース

講師 (株)島津製作所[1008号室]

HPLCの基本を説明した後に, 日常分析に対する留意点, 日常のメンテナンス方法, 簡単なトラブルシューティングなど, HPLC使用のノウハウについて講義します。

3. 電気化学インピーダンス測定コース

講師 (株)東陽テクニカ[1007号室]

電池や腐食, 塗膜などの評価に用いられる電気化学インピーダンス測定の原理を説明した後に, 等価回路に置き換えて解析する方法などについて講義します。また, 二次電池の測定に適応できる最新の測定・解析手法を紹介いたします。

募集定員 各コース20名(申込者数が最少催行人数に到達しない場合は, 中止する場合があります。)

参加費(含消費税・テキスト代)

正(個人)・法人会員会社社員 6,000円

非会員/一般 10,000円

学生(会員/非会員) 3,000円

※1:協賛学会の会員の方は, 化学工学会会員の参加費に準じます。

申込締切 6月15日(火)

申込方法 下記ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」にてお申込みください。

<http://scej-tokai.org/>

なお, 参加者には, 請求書と参加証をメールでお送りします。

請求書に記載された送金締め切り日までにご送金ください。参加証は当日ご持参ください。

*会場では新型コロナウイルス感染症対策を弊会のガイドラインに従って行います。詳しくは, 公益社団法人化学工学会東海支部ホームページをご覧ください。

問合せ先 公益社団法人化学工学会東海支部

HP: <http://scej-tokai.org/>

第45回基礎化学工学演習講座 (第3クール:1日単位)

主催 (公社)化学工学会東海支部

共催 (予定) 静岡化学工学懇話会, 東海化学工業会, (公社)日本分析化学会中部支部, (公社)日本化学会東海支部, (公社)資源・素材学会, (公社)高分子学会東海支部, (公社)日本原子力学会中部支部, (公社)廃棄物資源循環学会, 日本溶剤リサイクル工業会, (公社)日本機械学会東海支部, (公社)日本エネルギー学会, 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会

協賛(予定) 名古屋工業研究所, (公財)名古屋産業振興公社, (公社)日本水環境学会, (公社)電気化学会東海支部, (公社)粉体工学会, (公財)中部科学技術センター, (公社)電気化学会東海支部, (公社)有機合成化学協会東海支部, ISPE日本本部, 日本PDA製薬学会, 製剤機械技術学会

日程 2021年8月2~3日(月~火), 6日(金), 18~20日(水~金), 23日(月), 25日(水), 27日(金)(1日単位で受講可能)9:15~16:45(昼食休憩:12:30~13:30)

第26講

「研究開発リーダー実務講座2021」 —企業の将来を担う理想の 研究開発リーダー像とは？— 〈オンラインによる講義〉

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部

日時 2021年6月2日(水)、7月7日(水)、8月3日(火)、9月1日(水)、10月6日(水)、11月10日(水)の全6回、13:00～17:30(6/2のみ17:00まで)

開催方法 オンラインによる講義(「Zoom」を利用したライブ配信)

プログラム(各回話題提供終了後、グループディスカッション・交流会を予定)

5月24日(月)【本講座のガイダンス】

6月2日(水)第1回【研究開発リーダーのあり方】

1. ポストコロナ時代のリーダーシップ-パラダイムシフトを乗り切る3つの鍵-

ケルセジェン・ファーマ 小野光則氏

7月7日(水)第2回【新規事業への挑戦とアントレプレナーシップ】

1. 富士フィルムの挑戦-第二の創業と化粧品事業の立ち上げ-

富士フィルム 中村善貞氏

2. 科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ

神戸大院経営 忽那憲治氏

8月3日(火)第3回【人財を活かすマネジメント】

1. 研究開発マネジメントとダイバーシティ推進

北海道大 西田まゆみ氏

2. 素材企業におけるイノベーション追求とシェフ型研究者の育成

三井化学 諫山 滋氏

9月1日(水)第4回【産学連携と知財戦略】

1. 日本の産学連携を考える-知財実務家の視点-

山本特許法律事務所 山本秀策氏

2. 産学連携によるイノベーション創出

神戸大院科学技術イノベ 坂井貴行氏

10月6日(水)第5回【イノベーションと変革】

1. イノベーションを先導できる研究リーダーとは?

医療基盤・健康・栄養研 近藤裕郷氏

2. 「イノベーションの制約は何か」～TOC流イノベーションプロセス～

Goldratt Japan 岸良裕司氏

11月10日(水)第6回【ビジョンと独創的な製品開発】

1. 創業への情熱-睡眠薬ロゼレムの誕生秘話-(仮)

東和薬品 内川 治氏

参加費 主催団体会員50,000円、共催団体所属会員60,000円、会員外100,000円(オンライン配信価格、1名参加分、6回通し受講のみ、消費税込)

申込・問合せ (一社)近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: seminar@kinka.or.jp

※詳細はホームページ <https://kinka.or.jp/event/2021/26leader.html> をご参照ください。

対象 第2クールまでの基礎を修めており、専門領域の基礎から実践的な例を学びたい方、エネルギー管理士、高圧ガス製造保安責任者等の国家試験資格の取得を目指す方、化学工学技士(基礎)の資格取得を目指す方。

定員 各日ごとに90名(いずれも定員になり次第締切)

(企業向けの講座ですが、学生が受講されても構いません。ただし、定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。申込者数が最少催行者数に到達しない講義については、開催しない場合があります。)

会員特典 化学工学会正会員、学生会員ならびに法人会員会社社員の方は、本講座の受講者に限り、テキストを特別販売いたします。

*利用するテキスト:『改訂第3版 化学工学』(朝倉出版)税込2,750円→1,000円

テキストをお持ちでない場合は、参加費にテキスト代を加えてお申し込みください。

参加の際のご注意

(注1)関数電卓、定規を使用する場合がございますのでご用意ください。

(注2)本講座の配布資料や配信動画は著作物のため、複写・録音・録画・転載・上映・無断公開等を禁止いたします。

(注3)受講者様に起因する視聴トラブルについては、弊会は責任を負えませんのでご理解ください。

参加費(消費税を含む)

	第3クール (1日につき)
化学工学会正会員	10,000円
化学工学会法人会員会社社員	15,000円
共催・協賛団体会員	20,000円
学生会員	5,000円
会員外	30,000円

【注】第3クールは1日単位の受講形式です。

送金方法 現金書留または銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No. 1055521

「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

「公益社団法人化学工学会東海支部」

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申込みください。

<http://scej-tokai.org/> (開催1週間前を目途に、配布資料とテキストをお送り致します。)

申込締切 第3クール: 各日いずれも開催日の2週間前まで

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

<http://scej-tokai.org/>
TEL: 080-4525-3070

※本講座は、ビデオ会議ツール「Zoom」(または「Microsoft Teams」)ライブ配信となります。推奨環境については、当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。ライブ配信に関する注意事項は、別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。

昨今では、AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが、化学工学の理論との整合性を踏まえて行われる必要があります。また、高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は、ますます重要となっております。

本講習会では、受講者のレベルに応じて3つのクールを用意しました。第2クールまでは、プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方を主な対象としておりましたが、第3クールでは、さらに専門的な知識を習得したい技術者の方も対象に、原理や理論の説明に加え、豊富な事例に基づく例題を解きながら学べる機会を提供します。専門知識の習得だけでなく、装置設計への活用、運転条件の最適化への一助としてご活用いただければ幸いです。また、企業における社内教育の一部としてご活用いただければ幸いです。

プログラム

第3クール(各種単位操作など)1日単位で受講可能です。

8月2日(月) 蒸留

午前 気液平衡関係、相対揮発度
名古屋工業大学 名誉教授 森 秀樹氏

午後 McCabe-Thiele作図、特殊蒸留
日本リファイン(株) 小田昭昌氏

8月3日(火) ガス吸収

午前 気液平衡、吸収、膜分離
名古屋工業大学 南雲 亮氏

午後 吸収装置の設計と実際
東亜合成(株) 勝尾智津氏

8月6日(金) 抽出・吸着

午前 抽出・吸着の基本原理と応用
名古屋大学 神田英輝氏

午後 抽出・吸着装置の設計と実際
三菱ケミカル(株) 石羽 恭氏

8月18日(水) 攪拌・混合

午前 攪拌槽の構成、混合性能、スケールアップ、異相系の攪拌
名古屋工業大学 加藤禎人氏

午後 攪拌・混合装置の設計と実際
東亜合成(株) 鈴木日和氏

8月19日(木) 反応工学

午前 反応速度、反応器の分類と性能、生物反応速度
岐阜大学 上宮成之氏

午後 反応装置の設計と実際
三井化学(株) 小瀧 泰氏

8月20日(金) 調湿・乾燥

午前 絶対湿度、冷却減湿操作、定率乾燥
岐阜大学 板谷義紀氏

午後 乾燥装置の設計と実際
(株)大川原製作所 大石剛之氏

8月23日(月) 固液分離

午前 沈降分離、濾過、晶析の基本原理と応用
名古屋大学 向井康人氏

午後 固液分離装置の設計と実際
(株)三進製作所 小栗秀一郎氏

8月25日(水) 粉粒体操作

午前 粒子・粉体層の性質、粒子生成
大阪府立大学 名誉教授・(株)三進製作所 岩田政司氏

午後 粉粒体装置の設計と実際
新東工業(株) 天野寛之氏

8月27日(金) プロセス制御

午前 プロセスと制御、動特性、過渡応答、周波数応答
名古屋工業大学 米谷昭彦氏

午後 プロセス制御装置の設計と実際
三菱ケミカル(株) 福井創太氏